

## 祭礼の概要

# 寺家キリコ祭り

【じけきりこまつり】

### 由来

須須神社秋季例祭として執り行われている寺家キリコ祭りは、社伝によると250年程前から神輿のお明かしとして出されていたとされています。

神輿の奉迎に集まった大キリコは壮観であり、大正13年発行の須須神社誌によると、大浜組、川上組、本町組、下出組、大湊組、上野組より合計6本、高さ4間のキリコが出る盛大な祭礼で、珠洲はもちろん鳳至郡の大部分よりも参拝したと記してあります。

江戸後期より明治初期にかけて、輪島塗が施され、一流の彫刻師による飾りに金銀箔で加飾されるようになりました。

### 開催期日

9月第2土曜日

### 開催場所

須須神社前広場と、県道28号線（幹線道路）沿い。北側（狼煙方面）は寺家漁港まで、南側（粟津方面）は寺家大浜バス停付近まで巡行します。



祭礼場所までの所要時間  
■能登空港(IC)より車で約70分

※本内容は平成27年時点の情報に基づくものです。

問い合わせ先

珠洲市観光交流課

〒927-1295 珠洲市上戸町北方1-6-2  
TEL 0768-82-7776



平成27年度  
日本遺産魅力発信推進事業

# 寺家キリコ祭り



日本遺産 Japan Heritage

灯り舞う半島 能登 ~熱狂のキリコ祭り~



開催日

9月第2土曜日

場所

珠洲市三崎町寺家



## 行事の流れ

以前は大キリコの組み立てから始まりましたが、今は神社前に格納庫がつくられ、地区4本全部が組み立てたまま保管できるようになったため、提灯、太鼓、鉦などを取り付けるだけで出せるようになっています。当日朝、格納庫から引き出し、各町内へ移動します。

### ●当日

21:00 ヨバレ(供応)を済ませ、各組キリコは須須神社に集合整列する。神事後、出発順を決めるくじ引きをする。

22:00 須須神社を出発し町内を巡行する。南北どちらのルートから巡行するかは、毎年交代となっている。

### ●翌日

7:00 神輿が火渡り儀式をした後、キリコが2本ずつ入宮。

10:00 祭礼終了。提灯や太鼓などを外してそのまま倉庫に格納する。

※各時間はおおよその目安です。

## キリコの数、造り

塩津上野、下出、川上本町、大浜組の4本があります。

塩津上野のキリコは、高さ16.5m、屋根の広さが12畳と、能登最大のキリコです。さらに、総漆塗りで金箔と彫り物の装飾で彩られており、その重量は4tに達するといわれています。

かつてはキリコを担いでいましたが、昭和42年頃よりゴムタイヤの車輪がつけられ、以後飛躍的にキリコが大型化しました。

## 囃子、唄

掛け声は「ヤッサー、ヤッサー」。

笛、太鼓、鉦による、移動中、停止中の2種類の祭囃子があります。

## 他のキリコ祭りとの関連

キリコ祭りは奥能登に広く分布しているため、他地域のキリコを購入して、使用することもよくあります。寺家のキリコが10mくらいのとき、塩津上野が輪島市町野町大川地区から13m

のキリコを買い求め、大型化に拍車がかかりました。大川地区から購入したキリコは、珠洲市馬縹町に譲られ、現在も活用されています。

## 特色

何といてもその巨大さ、豪華さは、見る者を圧倒します。祭りが執行される須須神社は、延喜式にその名がみえる由緒ある神社であり、国重要文化財「木造男神像」や源義経の「蝉折れの笛」などを所蔵しています。社叢も国天然記念物に指定されています。

